

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第45号

古牧だより通算139号

熱戦
に続く
熱戦

第29回

古牧地区公民館対抗球技大会

8月19日(日) 公民館対抗球技大会が開催されました。

野球、排球(女子)、卓球の3種目が行われ、区民同士の交流が図られました。



野球 は、犀川河川敷第2グラウンドで12チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。当日は猛暑の中、又前々日の夕立でグラウンドコンディションも悪く、そんな中でも選手たちは、勝利を目指して頑張りました。白熱した戦いの末、優勝の栄冠に輝いたのは南長池でした。

優勝：南長池 準優勝：JR宿舎 3位：中村

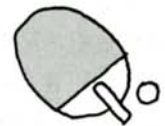
排球 は、12チームが参加し日頃の練習の成果を十分に発揮しました。応援も戦う選手の真剣なプレーに一喜一憂し、熱が入りました。優勝は、昨年決勝戦で涙を呑んだ西尾張部でした。



優勝：西尾張部
準優勝：西和田
3位：南高田



卓球 は、古牧社会体育館で7地区から10チームが参加して熱戦が繰り広げられました。Aブロックから上高田A・北条A、Bブロックから南長池・南高田が決勝トーナメントに進みました。決勝戦は、南長池と南高田で行われ南長池が大会を制しました。



優勝：南長池
準優勝：南高田
3位：上高田A
北条A



第62回 “社会を明るくする運動” 映画と講演会を開催

今年62回を迎える“社会を明るくする運動”の映画上映と講演会が、平成24年7月21日(土)午後2時から古牧公民館2階集会室において開催されました。

前日の豪雨災害にもかかわらず、100名近い人たちが集まりました。

まず始めに、映画鑑賞で「おはようそしてありがとう」を見ました。

続いて古牧地区内の小中学生3名による、犯罪や非行に関する作文の発表がありました。

講演は、北信圏域こころの相談センター 精神保健福祉士 小巻佳人先生に、「親子関係の歪みと心の傷—犯罪者はつくられる—」を演題にご講演いただきました。

再出発を見まもり、支える社会に!

第31回 防火・防犯ポスターコンクール 631点の作品を審査

第31回防火・防犯ポスター審査会が、8月26日(日)古牧公民館において行われました。

この審査会には、地元の市議会議員さんや各学校長さん、警察・消防の関係者など86名の審査員が集まりました。

各地区において応募された、小学1年生から中学3年生までの631点の作品を厳正に審査し、18名の入選が決まりました。

どれも力作ぞろいで、審査もかなり難しかったと

思います。

審査していただきました皆様、大変ご苦労さまでした。また、入選されました皆様おめでとうございます。

表彰式は9月9日(日)古牧公民館において行われます。(安全部)



第31回 防火・防犯ポスター入選者

学 年	賞	防火ポスター		賞	防犯ポスター	
		氏 名	地 区		氏 名	地 区
小学校1年生	消防分団長賞	窪 田 煌 也	西尾張部	防犯協会長賞	篠 田 朱 莉	西尾張部
2年生		小 山 愛 桜	西和田		北 原 文 寛	南高田
3年生		永 田 晋一朗	西和田		西 野 真 翔	中 村
4年生	消防団長賞	三 上 心 寧	川 端	住 民 自 治 協 議 会 長 賞	松 山 友 哉	平 林
5年生		大 峽 七 海	平 林		窪 田 琉 来	西尾張部
6年生		小 林 知 聖	川 端		青 木 諒 太	南高田
中学校1年生	消防局長賞	清 水 玲 那	東和田	警 察 署 長 賞	関 健 太 郎	東和田
2年生		市 川 美 穂	東和田		白 井 貴 郁	南高田
3年生		田 中 結 香	東和田		林 彩 花	中 村

夏季地域安全運動実施!!

安全部では、例年行っている夏季地域安全運動を今年度も引き続き実施しました。

自主防災意識の高揚をはかり、「安全で住みよい地域づくり」の推進を目的とし、各地区の実情に合った計画を立て、活動を実施しました。

上高田区では、8月10日(金)に夜間防犯パトロールを計画しました。午後7時30分より和田交番の警察官2名の同行をお願いし、3班に分かれ区内を約1時間パトロールしました。おもに、放置自転車、バイク、路上駐車、また防犯等の不点灯、危険個所の確認などを行いました。

上高田区においても数年前までは、盗難自転車の放置、路上駐車などが見られましたが、近年はパトロールでもそういったことが見られなくなりました。

地域からそうした犯罪に結びつくようなことが少しでも減ることは、地域防犯に携わる者として非常に嬉しいとの声がありました。

(安全部)



世代交流に160人参加する

8月4日(土)猛暑の中、古牧小学校の校庭で、古牧地区住民自治協議会の福祉事業の一環として、世代交流を目的としたグラウンドゴルフ大会を開催したところ、小学2年生から90歳代まで約160人が参加し、プレーを楽しみながら和気あいあいと過ごすことができました。



(福祉健康部)

成 績

小中学生の部

- 1位 小河原 くん
- 2位 中 村 くん
- 3位 町 田 くん

一般男子の部

- 1位 和田 栄
- 2位 松山 博保
- 3位 辻 勝男

一般女子の部

- 1位 宮沢 茂子
- 2位 益田みち子
- 3位 中沢 花枝

団 体 の 部

- 1位 中 村 区
- 2位 平 林 区
- 3位 東和田区



福祉健康部事業 好評に開催

男性の料理教室

毎回好評いただいています「男性の料理教室」が7月6日（金）に開催されました。食生活改善推進協議会の方々が講師となり、カレー粉を使ったヘルシーな《キャベツとひき肉のカレー》を作りました。

参加者からは『さっぱりして美味しかった』と評判でした。



ご参加お待ちしております。

今後の日程

9/24	11/16	1/15	3/12
------	-------	------	------

一人暮らし・高齢者のつどい

8月22日（水）古牧地区にお住まいの一人暮らしをされている方にお集まりいただきました。

《芝刈り人形》を作った後、ボランティア古牧の皆さんに作っていただいたお昼を食べながら、おしゃべりに花が咲きました。

昼食の後は認知症の寸劇を鑑賞し、歌を合唱し、楽しいひと時になりました。

12月にも開催予定です。



劇団
みちくさ

劇団「みちくさ」立ち上がる

社会問題にもなっている「認知症」に理解を深め、正しい対処を古牧地区の皆さんに訴えるため福祉健康部が呼びかけ、ボランティア古牧さんと一般のボランティアの方々が劇団「みちくさ」を立ち上げ、8月22日に古牧公民館で行われた「一人暮らし高齢者の集い」で認知症をテーマにした劇を発表しました。

認知症は普通の生活を送るのが困難になる障害です。認知症になり始めたおばあちゃんとその家族が“何か変だ”と気付き始めイライラしたり不安に思ったりしているという15分ほどの劇です。



今後は、各区のお茶のみサロンや老人会などに出向いて発表をしたいと思います。ぜひご覧ください。

東日本大震災地を視察

7月30日・31日の2日間にわたり、古牧地区住自協の会長以下各部長、各区の区長、防災指導員、環境美化部員等37名で、宮城県仙台市宮城野区福住町と東松島市の震災地を視察するとともに、被災地に義援金を贈り災害見舞いを行いました。

1日目は福住町を訪問しました。福住町は日頃から独自の防災マニュアルを整備して、この度の震災ではスムーズな避難誘導や避難所の開設運営を行うことができ、「福住町方式」として全国の注目を集めた地区です。

また、災害は必ず起こるものと定義し、日頃の防災訓練を通して、いかに災害を最小に抑えるかという「減災」に力を注ぎ、沢山の物資を備蓄していました。

更に私たちの研修のために、震災当時に活躍されたスタッフの方向何人も同席して、質問等に丁寧に答えていただき感謝にたえません。

2日目は、震災復興ツアーを受入れている東松島市を訪問しました。

ご自身も被災されているボランティアの女性ガイドさんの案内で、景勝の松島湾等を回りながら当時

のすさまじい状況を聞きました。

家の基礎のみを残し、家が1軒も無い町々と沢山の瓦礫の山を目にし、復興はまだまだ先だという感を強くしました。

特に海岸から1km奥にある野蒜地区では、避難所が小学校の体育館に指定されていたため、そこに逃げ込んだ350人の内50人が押し寄せた10mの津波にのまれ亡くなりました。

すぐ脇に3階建ての校舎があるにもかかわらず、移動できなかったのはかえすがえすも残念の極みと思いました。

大震災の地を目のあたりにし、お話を伺いあらためて災害の多いこの国に居住することの緊張感を思い、これから確実に起こるであろう大災害に適切に対処できるよう、今回の視察研修により得た知識を活用して、古牧住自協独自の災害対策を確立することに、出来る限り努めなければならないものです。

（総務部）

将棋のできる方募集

介護施設などで将棋をしながら、話相手になっていただける方連絡ください。

古牧ボランティアセンター ☎244-8159

地域遺産『南向塚古墳』

上高田区 区長 宮島 俊文

上高田区は古牧地区の南西部に位置し、南は芹田地区に接しています。区内には重要な幹線道路の長野須坂インター線（東西1,100m）国道18号線（南北800m）が通り、面積は約50haで大規模なマンション2棟をはじめ多くの住宅が建ち、約1,200世帯3,000人が暮らす静かな住宅地です。

昔は周辺の地域と同様、農業を中心とした農村地帯でしたが、現在では農地は減少し水田は数えるほどです。現在、比較的まとまって農地が存在するのは、国道に近い芋井神社・南向塚古墳の周辺ですが、ここは「南向公園」建設予定地になっていますので、区内で唯一の優良農地がいずれ無くなるのは寂しい気も致します。

この公園は面積2.4haの近隣公園で、平成30年度完成に向け用地買収が進んでいますが、公園の中に位置する市指定文化財の「南向塚古墳」を将来どのように保存するかが課題になっています。

こうした中で、地域遺産である「南向塚古墳」に

ついて、古墳に関わる資料を収集記録し、研究する「南向塚古墳研究会」が作られています。この研究会の主催で群馬県の高墳見学や、公会堂で考古学の専門家のお話を聞く会を開催し知識を深めています。

また、区民から句を募集し「南向塚古墳カルタ」の製作や、古代食（南向汁や南向御膳）のレシピ作りと試食会、昨年は第32回上高田芸能発表会で劇『南向塚古墳物語』を上演し、啓発活動を行っています。

このほか、上高田商工振興会の協力を得て、春のお祭りに合わせ桜の開花時にはぼんぼりを設置し、大勢の皆様楽しんで頂いています。

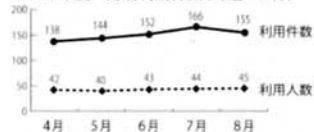
このように、昔から続くお祭り等の伝統継承と文化財保護の意識向上とともに、ゴミ拾いや除草等の管理を行い、地域の宝である南向塚古墳を大切に守っています。



古牧福祉自動車

あいりーん号通信 No.22

H24年度 月別利用件数(片道:1件)



“あいりーん号”は、公共交通機関を利用できない歩行困難な方が通院時に利用できます。事前に登録して一週間前までに予約します。車いすの方は車いすに乗ったまま乗降でき、助手席も地面まで回転して降りてきて大変乗りやすい車です。

お問い合わせは下記「古牧福祉サービスセンター」までお気軽にどうぞ。

運転協力員募集!!

運転を協力していただける方を募集しています。お問い合わせください。

古牧福祉サービスセンター (古牧支所内)
☎ 244-5522 コーディネーター 小林ひと美

古牧地区の世帯数と人口

24年8月1日現在

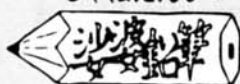
10,607 世帯

26,143 人

(男 12,907人 女 13,236人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
- 発行者 湯澤 角雄
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 (有)小池印刷

しゃばえんびつ



健康こそ人生の宝

人間、生老病死は人生において根本の課題で、誰もなにかしらの病気との闘いは避けられません。長い一生のうちに、自分や家族が病気に罹ることも当然です。

病気になること自体は不幸でも何でもないが、不幸なのは病気に負けてしまうことです。

健康こそが人生の宝です。

健康であるためには、その原因となる生活習慣を変えることです。それは、乱れた生活を生みだす「心」を変えること、喫煙や過度の飲酒は、それに手を出す心に問題があると気づくことです。

そして一番大切なことは、毎朝お日様を拝することです。つまり、早起きのリズムです。早く起きれば早く寝られ、それによって一日の疲れが取れ、体が若返り、健康になります。早起きこそが健康の起点です。

若さも健康も、自分の心で決まります。油断なく体調を整え、健康長寿を勝ちとりましょう。

(宮澤利雄)